

EC決済ビジネスの成長とともに発展する GMOペイメントゲートウェイ

GMOペイメントゲートウェイは、ネットショップなどのオンライン事業者、NHKや定期購入など月額料金課金型の事業者、国税庁や東京都等の公的機関など10万店舗以上の加盟店及び金融機関等に、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを提供する企業である。台湾では、主に電子商取引(EC)ビジネスを展開する日本企業向けにサービスを提供している。事業内容や今後の展望について、台湾支店長を訪ねお話を伺った。



GMOペイメントゲートウェイ
米田 豊台湾支店長

一 会社設立の経緯について

弊社にとって台湾を含む海外進出は、日本国内のクライアントの海外進出支援、さらには継続的な成長を海外現地でサポートしていくことを目的としています。アジアではシンガポールを統括拠点としてタイ、マレーシア、香港などにも拠点を設立しており、台湾は香港の支店の位置づけとして2014年に台北支店を設立しました。営業開始は2015年からでしたが、ちょうど台湾では日本の大手通販事業者様の台湾市場進出に続いて、日本の通販事業者様の進出が増えてきている時期でした。台湾市場自体EC取引比率が高いことに加え、日本の商品が好まれる親日風土もあり、EC決済成長期の良いタイミングで台湾進出ができたと思います。

一 台湾での事業内容について

台湾では、EC決済サービスの提供と、台湾ローカルのパートナー企業への出資と経営面・営業面での支援を事業として行っています。台湾でのEC決済サービスは、ロー

カルパートナー企業のシステムを一部利用しながら当社のシステムと連携しており、システム仕様書の日本語化対応も行うなど、クライアントの日本企業が日本語で使用できる環境を整備しながらサービスを提供しています。システムの仕様書確認や質問、各種問い合わせに関する台湾ローカルのEC企業と日本企業側とのコミュニケーションのサポートも行っています。

当初は台湾に進出する日本企業向けにEC決済サービスを提供していましたが、その後台湾ローカルのショッピングカートシステムを利用する日系企業とのビジネスも始まりました。そこからさらに発展して、台湾ローカル企業をクライアントとするサービス提供も始めています。EC決済処理サービスを提供する台湾ローカルの企業もありますが、クライアントへの対応の丁寧さやサポートのきめ細やかさといった点で差別化ができており、ローカル企業からの引き合いも増えてきています。

台湾市場はEC化が進んでいる上に、さらにEC取引の比率が上昇基調にあるため年々需要が増えていきます。台湾の

日本企業から見た台湾

ECモールサイトのビジネスも年々成長していますし、コロナ禍の影響を受けて、台湾国内旅行用決済取引が非常に活況であるという台湾ローカル事業者の声を聞くほか、新たに物販でEC事業を始めたいという引き合いや相談を受けることが増えています。既存クライアントのビジネスも順調でEC業界全体が成長している実感があり、長く続けられるビジネスであると感じています。

—今後の事業について

現在はクレジットカード決済を中心にEC決済サービスを提供していますが、今後は、出資し支援している台湾のパートナー企業による協力を得ながら更なる決済手段の追加などでサービスをより充実させていきます。既に準備を進めていて、コンビニ受け取り決済、LINE Pay、さらに中国人旅行客向けの銀聯 (Union Pay) や微信支付 (WeChat Pay) といった中国の決済手段の拡充も図ります。コロナ禍にあつて海外旅行はできなくても、ECを通じたビジネス展開は可能なので、中国市場を対象とした決済手段は今後も増やしていく予定です。クレジットカード決済は代引やコンビニ受取決済と違って先払いで代金回収できるため事業者にとってメリットがあるサービスですが、今後は決済手段のバリエーションを今まで以上に幅広く用意し、さまざまなニーズに対応していく予定です。

また、EC決済サービス以外にも便利なサービスを提供していきます。一例として、台湾独自のニーズである統一發票を、決済完了と同時に自動発行できるサービスを提供予定です。このサービスを導入することでEC事業者による統一發票処理が非常に楽になります。他にも、使い勝手のよいオフライン決済サービスも展開を計画しています。

—ありがとうございました

香港商技募最網金流有限公司台北分公司の基本データ

会社名	香港商技募最網金流有限公司台北分公司 (GMOペイメントゲートウェイ)
代表	支店長 米田 豊
資本金	160万台湾ドル
設立	2014年2月
事業内容	総合的な決済関連サービス

注)2020年10月の情報による
出所)公開資料及びヒアリングよりNRI整理